

利根保健生協 2026年7月現勢

生協組合員……………27,923人

出資金額……………1,533,630,000円

平均出資金額……………54,924円

理事33人 監事4人 総代192人 班長1,503人

*7月の新規加入組合員数は、90人でした。

利根の保健

発行人 大塚隆幸
発行部数 20,600

編集 「利根の保健」編集委員会
印刷 有限会社コトブキ印刷



利根保健生活協同組合

〒378-0053 沼田市東原新町1861番地1
☎0278(22)6060 FAX(22)6262

利根中央病院 沼田市沼須町 ☎(22)4321
片品診療所 片品村鎌田 ☎(58)3910
利根中央診療所 沼田市西原新町 ☎(24)1202
利根歯科診療所 沼田市高橋場町 ☎(24)9418
生協みなかみ歯科 みなかみ町後閑 ☎(25)3399
介護老人保健施設とね 沼田市東原新町 ☎(22)8855
サニーホームひまわり 沼田市高橋場町 ☎(22)3223



血圧測定の実習



声をかけながら足浴体験

看護体験
当院では、将来の看護を担う高校生を対象に、毎年春と夏に看護体験を実施しています。今年の夏は、7月30日・31日、8月1日・7日・8日の5日間にわたり開かれ、県内の各高校から32人が参加しました。

各病棟では、2〜3人の高
校生が学生担当看護師とともに実際の看護現場に入り、患者さんと触れ合いながら、洗髪や手浴などの看護ケアを体験しました。また、心電図モニターなどの装着を体験するなど、日常生活では経験できない貴重な機会となりました。体験後には、患者さんから「気持ちよかったです。ありがとうございます」と感謝の言葉をいただく場面もありました。

看護体験

参加した高校生からは、「看護師になりたいという気持ちがさらに強くなりました」といった感想が寄せられ、看護の魅力を実感してもらったと、看護の魅力を伝える機会となりました。今回、当院で看護師として活躍する姿が見られる日が来るかもしれません。



本物の器具を使って縫合体験



職員から救急車内の説明を受ける

医師・多職種体験
7月14日と16日の2日間、「高校生医師体験」を開催し、計9人の高校生が参加しました。初参加向けとリピーター向けに分かれ、救急車や

病理室、リハビリ室、薬剤室の見学、外科の縫合体験や内視鏡シミュレーション、医師との懇談などを行いました。参加した高校生からは「本物の器具を使った体験で医師のすごさを感じた」「医療従事者のリアルな声が聞けて、医師になりたい気持ちがより強くなった」といった感想が寄せられました。当院では今後も、地域の高校生が医療を身近に感じる機会を大切にしてまいります。

医師・多職種体験

病室、リハビリ室、薬剤室の見学、外科の縫合体験や内視鏡シミュレーション、医師との懇談などを行いました。参加した高校生からは「本物の器具を使った体験で医師のすごさを感じた」「医療従事者のリアルな声が聞けて、医師になりたい気持ちがより強くなった」といった感想が寄せられました。

利根中央病院

未来の医療人へ 高校生41人が医療現場を体験

第6回 子育て応援企画



時間も忘れて作品づくり

夏休み親子木工ワークショップ



思いおもいの木工作品ができあがりました

7月25日に川場村役場「むらの学習館」で5組13人が参加して「夏休み親子木工ワークショップ」を開催しました。施設見学では杉の木を間伐材のチップに加工して燃やすことにより、村役場の冷暖に3割から7割を有効活用している説明を聞きました。その後は地元の間伐材を活用した木工材料で、好きな絵柄をペイントしてキーホルダーやペンダント、カスタネットなどを仕上げました。

利根沼田森林組合の佐藤博久専務からは「森」と「環境保全」「緑の循環」のお話がされました。

参加者からは「楽しかった」「木材がこれだけの電気に活かされていることに驚いた」「素敵な時間を家族で過ごせました」などの声が寄せられました。

利根中央診療所

9月より「整形外科外来」の診療枠が増えます！

利根中央診療所では、非常勤医師の着任により「整形外科外来」が月3回に診療枠が増えます。

第1・3火曜日の午前
(受付時間8時30分～11時30分)

第4水曜日の午後
(受付時間13時30分～16時)

の診療枠になります。

予約をお受けしていますが、予約のない方でもかかれます。お気軽にお問い合わせください。

*受診の際の送迎も、組合員本人の方であれば利根中央病院と同じように、「通院支援」をご利用いただけます。

ご希望の方は、通院支援係
(☎0278-22-5050)までご連絡ください。

利根中央診療所

電話 0278-24-1202

あぜ道

利根沼田地域には当院を含む7つの病院があり、そのうち沼田病院は2026年6月1日をもって閉院となった。当院では、沼田病院が担っていた機能の一部を引き継ぎ、地域医療の充実にとりくんでいる。外来診療では約700人の紹介患者を受け入れ、増加した来院者に対応するため駐車場の増設工事を実施した。また、災害拠点病院およびがん診療連携推進病院の指定が地域の中で当院のみとなり、災害時の傷病者受け入れやDMAT活動の拠点としての役割、専門的ながん診療や相談支援、地域の医療機関との連携など、重要な役割を担っている。中でも特に重要な機能の引継ぎとなるのが感染症医療である。沼田病院が担っていた4床の病床を引き継ぎ、当院は今後、第二種感染症指定医療機関として地域の感染症医療を支える役割を担うこととなる。その準備として、感染症患者を安全に受け入れるための病室の改修工事を進めている。利根沼田地域にとって、110床を有する病院の閉院は大きな出来事である。当院は、引き継いだ役割を確実に果たし、今後も地域の皆さまに安心・安全な医療を提供できるように努めていく。

(病院事務長 井本)

利根歯科診療所・
生協みなかみ歯科

子ども歯の保健教室

サンドブラスターを使い
ガラスを曇らせる体験

真剣な表情で模型の歯を削る体験

「いい歯の日」作品コンテストの募集

テーマ 歯と口に関する作品なら何でも！
応募用紙の裏にめりえがついているので、色塗りをして出して頂くだけでも構いません！
例）俳句、ポスター、写真、折り紙など。

応募対象 どなたでもご応募いただけます。

応募期間 2026年9月～10月中旬まで。
※作品は応募用紙と一緒に「利根歯科」の受付に持参してください。
※応募作品は待合室に展示されます。
※作品の中から入賞作品を選び、11月上旬に発表いたします。

応募・問い合わせ先

利根歯科診療所 ☎0278-24-9418
皆様ふるってご応募ください！！

マスクして
入れ歯忘れる
趣味の会

利根
中央病院

より安心の出産へ

—— 立ち会い分娩変更と産後支援 ——

当院では、立ち会い分娩の運用を一部変更いたします。これまでとは感染対策のため、立ち会いを希望される方には出産前よりご来院いただいていたが、7月より、ご来院のタイミングを「陣痛開始時」へと変更いたしました。より自然な形でご家族が産産を迎えられることで、かけがえのない体験が一層温かいものとなることを願っております。（詳しくはホームページをご参照）

また、産後の育児サポートとして各市町村と連携し、「宿泊型」「訪問型」の産後ケア事業を受け入れています。宿泊型では無料フェイシャルエステや充実した食事、個々のニーズに合わせたプランでゆとりよく過ごせると好評です。お困りのお母さまがいらした際は、ぜひご案内ください。

今後ともスタッフ一同、地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。



お産後にフェイシャルエステ

※産後ケアの利用申し込みは、住まいの市町村保健師が窓口となります。

利根中央病院

高齢者用肺炎球菌感染症の定期予防接種について

（プレベナー20）

2026年4月から使われるワクチンがPCV20へ生涯1回のみ接種に変わりました。

65歳の方が対象です。接種費用の助成や案内方法は各自治体によって異なりますので、市町村からのお知らせをご確認ください。肺炎は高齢になるほど重症化しやすく、予防が大切です。「自分は対象になるの?」「以前接種したけど必要?」など気になる方はかかりつけ医や自治体へご相談ください。健康づくりの一環として、ぜひこの機会に肺炎予防について考えてみましょう。

お問い合わせ 利根中央病院 ☎0278-22-4321
利根中央診療所 ☎0278-24-1202
片品診療所 ☎0278-58-3910



上手な受診のしかた

利根
中央病院

- 1 受診する準備をしましょう
いつから・どのような症状があるのか「メモ」にまとめましょう。
- 2 飲んでいいる薬を伝えましょう
お薬手帳や飲んでいいる薬を持参しましょう。
- 3 大事なことはメモをとりましょう
時間がたつと忘れてしまうこともあり診察中にメモをとりましょう。
- 4 疑問に思ったことや分からなかったことは質問しましょう
説明が分からないことは遠慮せずに聞きましょう。
- 5 具合が悪くなったなら電話しましょう
利根中央病院 ☎0278-22-4321
予約の電話は ☎0570-01-3489

原水爆禁止2026年世界大会に参加して

原水爆禁止世界大会広島大会へ群馬県代表団の一員として利根保健生協からは職員2人、組合員2人の4人が参加してきました。

利根保健生協から参加した4人。
大会総会会場にて

平和公園前

私たちは「核も戦争もない社会」を実現するために運動を展開しています。しかし、いまだに核廃絶社会が実現できていない現状です。大会を通じて被爆者の思いを聞き「何より大切なことは平和で暮らせる社会をつくるのが重要」と感じました。今こそ戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え行動しなければなりません。私もこの原水爆禁止世界大会に参加して思いました。これからも若者たちと平和の大切さを伝えていきたいと思

（池田支部 小野 光良）
私が強く印象に残ったのは37度の気温の中で行った「碑めぐり」です。広島実行委員のガイドで「ヒロシマの声を聞こう」ゆらぐ核のタブー「今こそヒロシマ」の動く分科会に参加しました。
「これで原爆は禁止される」と思いました。しかし、いまだに世界の核兵器数は12,241発も有ると言われています。私は核兵器廃絶に向けて、これからも国民平和大行進に参加したいと思いました。（猿ヶ京支部 林 岩男）

生協 ハート市 出店者大募集！
日時 9月5日(土) 10:00～11:00
会場 とね虹の里 ※雨天中止
販売 玉ねぎ、じゃがいも、かぼちゃ、にんじん、小松菜、わさび菜、ほうれん草、大根、ねぎ、カステラ、お弁当、惣菜、エビピラフ、飲み物、デザート
詳しくは、生協くらしサポートセンター ☎0278-22-2300まで

みんなの食堂 にぎわい広場 限定 50食
9月12日(土) 11:30～12:30 予約不要 だれでも無料
場所 利根保健生協 本部 2階ホール
カレー ※アレルギー対応できません

フードライブ「おすそわけ&相談会」
日時 10月17日(土) 10:00～無くなり次第終了
会場 とね虹の里 ※雨天決行
対象者 高齢者世帯・ひとり親世帯・ひとり暮らし世帯
☆医療・介護・くらしの相談窓口を設置しています。お気軽にお声掛けください。
☆食品、日用品など随時募集中です。物資の在庫が逼迫してきています。みなさんのご協力をお願いいたします。
詳しくは、生協くらしサポートセンター ☎0278-22-2300

2026. 9月号
医療相談室

「地域連携室」がつなぐ、医療と暮らしのバトン

緑豊かな山々に囲まれ、四季折々の自然に恵まれたここ利根沼田地域。私たちがこの住み慣れた街で、いつでも安心して健康に暮らしていくために、なくてはならないもの――それが「医療の安心」です。

皆様は、利根中央病院の中にある「総合支援センター」という部署をご存じでしょうか。「名前は聞いたことがあるけれど、具体的に何をしているところか分からない」という方も多いかもしれません。

総合支援センターは、病院の正面入口に入ってすぐにある、患者さんやご家族の医療・生活・福祉に関するあらゆる困りごとをサポートするための総合窓口です。（1番窓口・写真）

主に、地域の病院や開業医の先生方と連携を行う「地域連携室」、入院生活や退院に関する相談・支援を行う「入院センター」、相談者に寄り添い、生活や介護保険の相談、福祉制度の説明などを担う「相

談支援室」の3つで構成されています。今回はその中から、地元の「かかりつけ医」の先生方とどのように手を取り合い、患者さん一人ひとりの安心を支えているのか、当院の「地域連携室」のとりくみをご紹介します。

当院は、利根沼田地域で救急や重症患者さんを中心に診療する「急性期型病院」としての役割を担っています。一日の外来患者数は約670人で毎日混み合っているのが現状です。



1番窓口



利根中央病院
総合支援センター
事務課長
河邊 有紀

そのため当院では、状態の落ち着いた患者さんには地域の診療所（かかりつけ医）への通院や他施設への転院をお願いするなど、地域全体で患者さんを支える体制づくりを進めています。

このような状況のもと、地域連携室は利根沼田地域、さらには吾妻地域の各医療機関と緊密に連携し、患者さんのスムーズな受け入れや紹介（逆紹介）を目指して事務3人で日々業務にあたっています。

地域医療のコーディネーターとして

医療には、それぞれの大切な役割があります。普段の風邪や体調不良、持病の定期的な管理など、身近で健康を支えてくれるのが「かかりつけ医（クリニックや診療所）」です。一方で、精密な検査や手術、専門的な治療、そして急病や怪我に対応する救急医療を担っているのが、地域の「基幹病院」である利根中央病院です。

地域連携室の最も重要な役割は、この異なる役割を持つ医療機関をスムーズになく「架け橋」となることです。

「普段は近くのクリニックに通い、いざという時は利根中央病院で専門的な治療を受け、落ち着いたらまた地元のクリニックに戻って療養を続ける」

この一連の流れを専門用語で「病診連携（びようしんれんけい）」と呼びます。地域連携室は、紹介状（診療情報提供書）のやり取りをスムーズにし、患者さんの検査予約を迅速に行うことで、二度手間や待ち時間の削減、そして何より「切れ目のない医療」の提供に努めています。

特に利根沼田地域は超高齢化が進んでおり「地域完結型医療」の実現が強く求められています。当院はその中心的な役割を

担い、地域の開業医の先生方や各病院との連携をさらに強め、地域に貢献していきたいと考えています。

顔の見える関係づくり

「連携」において私たちが最も大切にしているのは「顔の見える関係づくり」です。

地域医療機関の先生方と直接顔を合わせて情報交換を行い、普段からお互いの強みや特徴、そして何より「人柄」を知り合っておくこと、この信頼関係があるからこそ、緊急時にも「〇〇先生のところの患

者さんですね、すぐに受け入れましょう」といった、迅速で温かみのある連携が可能になります。

また当院では地域の先生方が集まる症例検討会や情報交換会を定期的に開催し、地域全体で医療の質を高め合うとりくみも続けています。

私たち地域連携室は、利根沼田の医療・介護・福祉のネットワークのハブ（中心）となり、皆様がこの大好きな街で、最後まで自分らしく、誰もが安心して笑顔で暮らせるよう、これからも全力でサポートしてまいります。

組合員どうしの助け合い活動「ちょっとお手伝い」

助け合い活動は「ちょっとお手伝い」として、誰もが住みなれた地域で生活していける手助けにと活動をしています。

対応できた事例

草刈り 〈依頼者：80代男性〉



「在宅酸素をしながらの生活で自分では困難」とのことです。草刈りを行いました。のびた草に覆われていた玄関口もととてもきれいになりました。

助け合い活動は気兼ねなく利用できるような有償になっています。内容によってはお応えできない場合もありますが、まずはお電話ください。また、お手伝いいただける協力者も募集中です。

有償ボランティア

30分	300円
1時間	600円
・交通費として1km 20円	
利用者宅や協力者宅	
・機械持込	1回 500円

生協くらしサポートセンター ☎ 0278-22-2300

利根中央病院では、地域の医療機関と医療連携を行う「登録医制度」を導入しています。地域の「かかりつけ医」からの患者受け入れ（紹介）や、症状が安定した患者の地域のクリニックへの転院・経過観察（逆紹介）をスムーズに行う仕組みです。利根沼田地域をはじめ、多数の医療機関と連携しています。

登録医療機関 (2026.8.1 現在)

<沼田市>

青木クリニック
石田医院
内田病院
江森内科医院
かないクリニック
かない眼科クリニック
久保産婦人科医院
こうだ医院
さこだクリニック
塩崎医院
しめぎ整形外科クリニック
白根クリニック
代田眼科
皇海診療所
武田メンタルクリニック
堤眼科
つのだ医院
角田外科医院
つのだ小児科クリニック

パース整形外科クリニック
光整形外科医院
藤塚クリニック
松田耳鼻咽喉科医院
むらた耳鼻咽喉科クリニック
矢内整形外科医院
やなぎまち皮膚科クリニック

<利根郡>

上牧温泉病院
川場診療所
群馬パース病院
たかだクリニック
竹内医院
田中内科医院
月夜野病院
星野医院
森下診療所
山本医院

<吾妻郡>

吾妻さくら病院

くりはら医院
群馬リハビリテーション病院
けんもち医院
田島病院
中之条病院
中山診療所
西吾妻福祉病院
東吾妻町国民健康保険診療所

<渋川市>

北毛病院

<県外>

イノルト整形外科 藤沢院
痛みと骨粗鬆症クリニック
イノルト整形外科 横浜院
痛みと骨粗鬆症クリニック
ウチカラクリニック
オンラインメディカルクリニック
金山内科
仙台駅前美容外科
Re:Birth Clinic NAGOYA

支部・ブロック活動

沼田東・沼田北支部 合同モルック交流会



19人が参加し、3人一組でのチーム戦をトーナメント形式で行いました。「頭も使うね」「大きい数字を狙って～!」と応援にも力が入り、元気な声とたくさんの笑顔が見られました。モルック、楽しかったですね!

西部ブロック わなげ交流会



こどもを含む48人が参加し、総点数で1位～3位までの表彰を行いました。みなさん真剣に的を狙い「あれ～?」「惜しいね～」と声を掛け合う姿も見られ、にぎやかな時間となりました。

みなかみブロック 役員交流会



22人で動画学習後にわなげ大会を行いました。みんなで応援し大盛り上がりでした。昼食交流も行い、支部の垣根を超えた楽しい交流会となりました。

猿ヶ京支部 ごみ拾いウォーキング



東京から生活体験に来ていた中学生と沼田の特別支援学校の生徒など合わせて約50人と赤谷湖周辺のごみ拾いを実施。生協の紹介も簡単に行い、交流することができました。

昭和南支部 6B病棟見学



看護師長の案内のもと、病棟を見学しました。設備等の説明を受け、この日行っていた「七夕まつり」へ一緒に参加しパネルシアターやクイズを楽しみました。

まちかど健康チェック

まちかど健康チェック



宝いかしin片品ふれあいバザールで握力測定と体組成測定を実施しました。委員の知人やイベントに参加していた高校生に声をかけをして、延べ54人の方へ測定することができました。

★ 第2回 利根保健生協主催 ★ スポーツ吹矢交流大会



日時 10月24日(土)
12:30集合 13:00競技スタート
会場 沼田東小学校体育館
(沼田市東原新町1801-1) ※駐車場は校庭
参加費 500円 **募集人数** 100人
参加条件 スポーツ吹矢用具をお持ちで当生協組合員の方
申込締切 10月10日(土)まで

参加者全員に
高原野菜を
プレゼント!

上位入賞者に
豪華賞品あり

※本大会はスポーツ吹矢振興協会の競技規則に準拠します。

生協強化月間「スタート集会」のお知らせ

日時 9月16日(水) 13:30～16:00
会場 利根沼田文化会館 小ホール
講演 「ガッテン流!健康長寿の新常識
～今日からできる、健康づくりのコツ～」
元NHK科学・環境番組部
専任ディレクター 北折 一 氏
活動報告 2支部・1職場

※当日は出資金受付窓口を設けます。
※講師の書籍販売を行います。
ご参加できる方は、各支部役員または生協くらしサポートセンターまでお申込みください。

「すこしおレシピコンテスト2026」のご案内

みなさん自慢の減塩レシピをぜひお寄せください!
下記の3部門のうち、いずれかを選択してご応募ください。

A 1食分のレシピ **B 惣菜のレシピ** **C 簡単電子レンジレシピ**

応募期間 9月1日(火)～11月30日(月) 必着

受賞された方には豪華な賞品が贈られます。
※詳細は生協くらしサポートセンターへお問い合わせください。

生協いきいき農園ニュース

3月にはじまったこの農園で、じゃがいもやとうもろこし、にんじん、ミニトマトなど様々な野菜が収穫の時期を迎えました!!

収穫された野菜は
「みんなの食堂」や「フードドライブ」
「おすすめ」で提供されています。



とうもろこし収穫しました!

- スポーツ吹矢交流大会
- 生協強化月間「スタート集会」のお知らせ
- 「すこしおレシピコンテスト2026」のご案内
- 生協いきいき農園ニュース ●お友だち募集中!

左記企画・お知らせに関する
申込先、お問い合わせ先
生協くらしサポートセンター
☎0278-22-2300

LINE
お友だち
募集!!

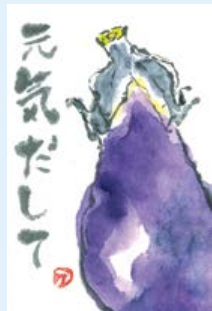
生協のイベントや企画のお知らせ等様々な情報を発信しています。
ご登録いただくとスムーズに利根保健生協のホームページに
アクセスができ、これまでの利根の保健の閲覧も可能です。



作品募集

今月は35件のご応募ありがとうございました。
連続して同じ方の作品を掲載しないこととしてい
ます、ご了承ください。
なお、楷書でわかりやすく丁寧に書いてください。
また、絵手紙や写真、手作り作品など分野にこ
だわらず作品を募集しています。
〒三七八〇〇五三 沼田市東原新町一八六一の一
利根保健生協「なかまの作品係」
メール投稿 nakama@tonehoken.or.jp

沼田市上原町 本多 暁美



沼田市横塚町 霜垣 ユミ子 (絵手紙クラブ)

胃のあたり毎夜消毒飽きもせず
沼田市薄根町 大竹 美鶴

暑気払い深夜へ続く酒豪たち
沼田市柳町 津久井富子

笑み浮かべ病を越えた九十寿迎える
沼田市清水町 木暮はる枝

川柳

進化する渡る世間に追い付かず
沼田市鍛冶町 小坂橋ミチコ

割れ鍋もびたり夫婦の歩が揃う
沼田市高橋町 角田 千里

はっぴ着て肩に天狗と熱き声
沼田市薄根町 塩野 国造

上州乙女の人とき夏の夏
沼田市薄根町 塩野 国造

畦に尻下ろして魅入る穂のふふみ
みなかみ後園 番場 正夫

無事に育ちし稲に感謝す
みなかみ後園 番場 正夫

俳句

朝取りのトマトをパスタにおいしくて
沼田市原町 狩野 章子

木洩れ日を浴ぶ野仏の負ふ青嶺
沼田市東町 貝瀬 久代

風に乘る祭り囃子や夜の帷
沼田市沼須町 角田ひろ子

震災に重なる酷暑肥後の国
みなかみ上津 林 明男

なかまの作品

